

水道料金の見直しを

吉田信弘 議員



問 現在、個人住宅用として、メーターの口径を13ミリまたは20ミリと定めています。真美ヶ丘、みささぎ台地区はすべて20ミリとなっており、13ミリと20ミリの分け方は、1戸当たり3栓以上を20ミリとし、それ以下は13ミリと決めておられます。真美ヶ丘地区は、昭和57年から入居が始まり、30年が経過している地域もあり、夫婦ふたりの世帯が増加し、水の使用量も家族が多い時に比べて減っています。一方大字地区では、当初から13ミリを使用されている世帯もあります。新築または建て替えの場合は20ミリと決めておられます。そこで、①13ミリと20ミリの使用数はどれだけあるのですか。

②20ミリの料金を下げ、13ミリと同一料金にするとどれだけの減収になりますか。

③20ミリの料金を下げ、13ミリと同一料金にされる考えはありますか。

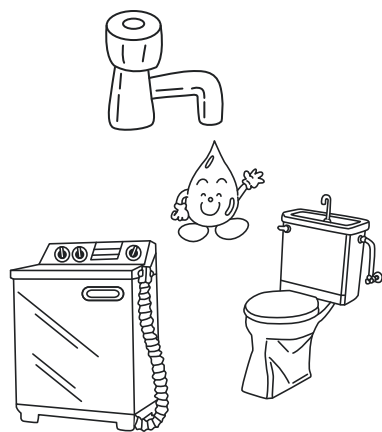
平岡町長

水道料金体系のご質問でございますが、

①13ミリと20ミリのそれぞれの使用栓数につきましては、現在13ミリが3,706件、20ミリが8,080件でございます。

②20ミリの料金を下げ、13ミリと20ミリを同一料金にすると、5,090万4,000円の減収でございます。

③同一料金にしてはとのご提案ですが、水道施設は最大需要量に備えてつくられており、しかも、需要者の一度に利用可能な水量は、口径の大きさによって左右されることから、広陵町は口径別の料金体系を採用しています。家庭用のメーターの口径は13ミリと20ミリとでは、配管の口径が異なり時間当たりの給水量が違います。また、同一料金は考えておりませんのでご了承賜りたいと存じます。



公共施設の温かい 水の通った活用について

松浦敏信 議員



問 (1)見立山公園の子育て施設について、ポケット一時預かり保育施設の本年3月末での閉鎖理由と対応策。(2)西谷公園施設クリーンヨガの活用について、健康の保持増進による健康づくりの一端として活用されているのに3月末で打ち切りとは。

平岡町長

(1)子育て支援「ポケット」

は平成20年6月末から全国シルバー人材事業協会と町の補助金を受け、広陵町シルバー人材センターが幼児の一時預かり、送迎、在宅支援の事業を行ってきました。国の事業仕分けにより平成20年度に事業を開始されたが平成23年度をもって補助金の交付が終了となったため、平成24年3月31日で閉鎖されるものです。なお、引き続き、町が福祉政策として実施していくことで施政方針で申し上げたとおり予算措置させていただきシルバー人材センタースタッフに対応していただきます。

中学校給食に関して

(2)西谷公園施設は、基本的に事務所であり、一般の住民を対象に施設の貸し出しを目的とした建物でないことをご理解願います。また、周知期間が短いため代替施設を探す期間や町の団体に加盟する準備期間として、9月まで継続使用の許可をされており、利用者の方からご理解をいただいております。

問 中学校給食に関して12月議会において、この問題は請願となり全会一致で採択されたことは、極めて重大で、これに関してはどうのように考え、どのように行動されているのかお伺いしたい。

平岡町長

中学校給食の実現に向けて、いろいろと検討を行ってきております。昨年に設置しました「食生活・食育を考える会議」と「中学校給食懇話会」において、今後しっかりと議論をしていただけるものと考えております。

